

日本の里山の秋を彩る 鮮やかな瑠璃色の花 「リンドウ」が見頃です

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「リンドウ」が見頃を迎えています。

園内では吹き抜ける風が肌寒く感じるようになりました。秋の花が次々と開花し、ロックガーデンには秋の野山の花を代表するリンドウが透き通るような瑠璃色の花を咲かせ、一際目立っています。



■リンドウ(リンドウ科)

瑠璃色の花で秋の野山を彩るリンドウは、日当たりのよい草原や丘陵地に生える多年草で、高さは20cm～100cmです。切り花によく用いられているものは、“エゾリンドウ”という花が輪状になって咲くものですが、「リンドウ」は、筒状の花がとても鮮やかな瑠璃色で、晴天時のみ開き、雨の日や夜は閉じてしまいます。薬草としてもよく知られており、根茎と根を乾燥させ古来より中国、日本で苦味健胃薬に使われていました。当園に咲く「リンドウ」は、**現在見頃で、11月上旬まで**お楽しみいただける見込みです。

★2枚目にも見頃の花の情報があります！



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園
TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生以上)700円 / 小人(4歳～小学生)350円

【開園期間】～11月23日(火・祝)

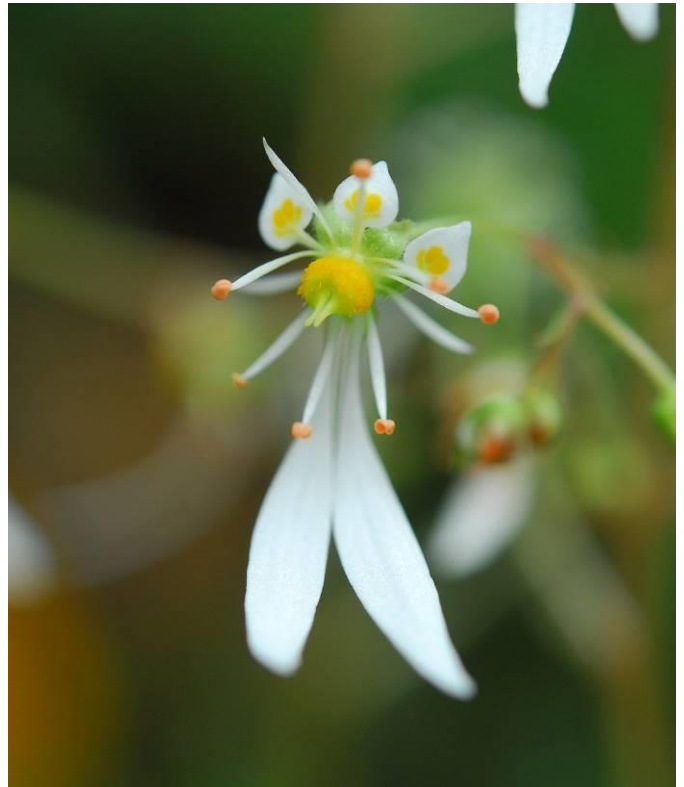
【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了) ※「夜の紅葉散策」開催時は延長あり。

【駐車料金】平日:500円、土日祝:1,000円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。

ユーモラスな形が可愛い 「ダイヤモンドソウ」「ジンジソウ」が見頃です！

「ダイヤモンドソウ」と「ジンジソウ」はどちらもユキノシタの仲間で、花の形を漢字に見立てて名前が付けました。そのユーモラスな姿は小さいながらも印象的で、カメラマンをはじめとした多くの人の注目を集めています。



■ダイヤモンドソウ(ユキノシタ科)

山地や高山の湿り気のある岩上などに生える多年草です。個体変異が多く、葉の形、花弁の形、毛の有無などいろいろです。10～30cmの花茎を出し、まばらに白色の5弁花をつけます。5弁のうち、上の3弁が小さく下の2弁が大きいので、それがちょうど「大」の字に見えて大文字草と付けました。当園の「ダイヤモンドソウ」は現在見頃で10月下旬までお楽しみいただける見込みです。

■ジンジソウ(ユキノシタ科)

山地の岸壁に生える多年草です。秋の終わり、存在感のある「人」の字の形をした花を咲かせます。花弁は5個で上の3弁が長さ4mmと小さく、下の2弁が長さ12～25mmと長いので人の字に見えるため、人字草と呼ばれています。上の花弁の基部には黄色または紅色の鮮やかな斑点が入ります。ダイヤモンドソウと同じ仲間ですが、大の字と人の字の違いは、一目でわかります。当園に咲く「ジンジソウ」は現在見頃で、11月上旬までお楽しみいただける見込みです。

見頃の花・紅葉



ヤマトリカブト
(10月下旬まで)



イワギク
(10月下旬まで)



シクラメン・ヘデリフォリウム
(11月上旬まで)



イヌブナ
(11月上旬まで)